

しょうがいじ しゃじつたいちようさ
障害児・者 実態調査 について

やまもとまり
山本 眞理

がつ にち かいぎ とつぜん ださ ぷらん ぎじろく
6月22日の会議で突然出されたプランと議事録であったのでその場で詳細に
けんとう ひま
検討する暇がありませんでしたが、結論としては在宅の障害児・者に対する
ちようさ おこなう
調査を行うということであり、構成員から出た入院中・入所中の方の
ちいきいこう むけた にーず
地域以降に向けたニーズはあくなど行わないということになったとのことです。

さてこの調査ですが、73年、83年と精神衛生実態調査がなぜ中止されそ
れ以降調査がなされてこなかったのかということ、とりわけ73年には自殺者まで出し
たということに対する総括が全くされていないままのプランであると断言せざるを
えませ
得ません。

とつぜんじたく おしかけられ しょうがいしゃ かどうか ついきゅう
突然自宅に押しかけられ、障害者かどうか追及されるという事態は、地域で
おびえつつ毎日ひそかに生き延びている精神障害者を追い詰め最悪の事態を
ひきおこし
引き起こしかねません。また仮に最悪の事態がないにしても多くの精神障害者
はそうした調査に応じることはないと思われ、調査項目がいったいどの
ように精神障害者総体の利益につながるのか理解できません。

ふりえき
不利益のみであり、何の利益もないと談じます。

さきにもうしあげた わたし ねんせいしんえいせいじつたいちようさはんたい なか せいしん
先に申し上げたように私は83年精神衛生実態調査反対の中で、精神
しょうがいしゃ あぶりだし ちようさ
障害者のあぶり出し調査ではなく、精神病院の調査こそしろと要求し
ました。その結果が84年に暴露されたのが宇都宮病院事件です。

いまげんざい せいしんびょういんにゆういんかんじゃ じょうほう
今現在も精神病院入院患者は情報のないまま放置され、通信
めんかいけん うばわ なかま かずおおい
面会権を奪われている仲間も数多いのです。

まずなされるべきは精神病院の実態調査であり、施設の 実態調査 である
かんがえます
と考えますので、報告された調査計画には反対します